



TITLE:

研究会報告 基研短期研究会 『統計
物理の現状と展望』
～STATPHYS19に向けて～

AUTHOR(S):

CITATION:

研究会報告 基研短期研究会 『統計物理の現状と展望』
～STATPHYS19に向けて～. 物性研究 1992, 58(5): 468-470

ISSUE DATE:

1992-08-20

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/94932>

RIGHT:

研究会報告

基研短期研究会『統計物理の現状と展望』～STATPHYS 19に向けて～

期日：1991年11月11～13日

場所：京都大学基礎物理学研究所（北白川）

（1992年6月22日受理）

研究テーマと内容：

今年ベルリンでIUPAPの統計熱力学の国際会議が開かれるが、3年後のこの会議の開催に関してIUPAP統計専門委員会委員長の打診があった。そこでこの会議のわが国での開催の可能性を検討する必要が生じたが、これを機会に統計物理学全般の最近の動向についての各分野の代表的な研究者に最近の研究状況とその興味あり方を紹介してもらい、細分化が進み互いの研究交流が希薄になりがちな傾向の状況の中で、全体を的視視野を拓き個々の分野での新しい刺激や交流の場となることを目的とした研究会を開いた。

研究会には100名を越す参加者が集まり、たいへん活発な議論がおこなわれた。現在直接研究している対象が異なっても、互いの交流の重要性が強調された研究会となった。

発表者および講演テーマは別紙参照

また、11日夜に開かれたインフォーマルミーティングではSTATPHYS 19のわが国での開催に向けて賛同が得られ、開催招致に向けての準備会（委員長 鈴木増雄、事務局 宮下精二）が設けられた。実際の開催有無についてはIUPAP専門委員会やアジア地区の他国の動向によるがその判断は川崎恭治IUPAP統計物理学専門委員と鈴木増雄準備会委員長に任された。

世話人：

相沢洋二（早大理工）、池田研介（基研）、太田隆夫（お茶の水女子大理）、小貫明（京大理）、小野嘉之（東邦大理）、金子邦彦（東大教養）、川崎恭治（九大理）、北原和夫（東工大理）、蔵本由紀（京大理）、沢田康次（東北大通研）、柴田文明（お茶の水女子大理）、鈴木増雄（提案説明者 東大理）、高木伸（東北大大理）、高野宏（慶応義塾大理工）、武末真二（京大教養）、田崎晴明（学習院大理）、都築俊夫（東北大大理）、土井正男（名大工）、富田博之（京大教養）、西森秀稔（東工大理）、松下貢（中央大理工）、宮下精二（連絡責任者 京大教養）

基研短期研究会『統計物理の現状と展望』 ～ S T A T P H Y S 1 9 に向けて～

期日：1991年11月11, 12, 13日
場所：京都大学基礎物理学研究所（北白川）

11月11日(月)
(1:00～)

- ・はじめに
鈴木 増雄（東大理）、川崎 恭治（九大理） 1:00～1:30
- ・相転移研究の現状と展望
鈴木 増雄（東大理） 1:30～2:10
- ・動的イジング模型における緩和現象
高野 宏（慶応大理工） 2:20～2:50
- ・スピングラスについて
高山 一（筑波大物理） 3:00～3:30

Coffee Break (3:40 - 4:00)

- ・不規則系の物理学
米沢 富美子（慶応大理工） 4:00～4:30
- ・Anderson Transition in Random Electron Systems
大槻 東巳（阪大教養） 4:40～5:10
- ・非平衡熱力学の残された問題
北原 和夫（東工大理） 5:20～5:50

11月12日(火)
(9:00～)

- ・統計力学と情報科学
篠本 滋（京大理） 9:00～9:30
- ・非線形振動子多体系
蔵本 由紀（京大理） 9:40～10:10
- ・流体における時空カオス
沢田 康次（東北大通研） 10:20～10:50

Coffee Break (11:00 - 11:20)

- ・ Complex Fluid におけるダイナミクス
小貫 明 (京大理) 11:20 ~ 11:50
- ・ 非平衡開放系の自己組織化
太田 隆夫 (お茶大理) 12:00 ~ 12:40

Lunch Time (12:50 - 2:00)

- ・ 可解格子模型とその応用
阿久津 泰弘 (阪大理) 2:00 ~ 2:40
- ・ 量子スピン系の長距離秩序について
久保 健 (筑波大物理) 2:50 ~ 3:20

Coffee Break (3:30 - 3:50)

- ・ 低次元系のスピン波
高橋 実 (東大物性研) 3:50 ~ 4:20
- ・ 量子系のモンテカルロ法
羽田野 直道 (東大理) 4:30 ~ 5:00
- ・ 厳密対角化法による量子スピン系の研究
利根川 孝 (神戸大理) 5:10 ~ 5:40

懇親会 (5:50 ~)

11月13日(水)
(9:00 ~)

- ・ 無限粒子系の物理と数学
香取 眞理 (東大理) 9:00 ~ 9:30
- ・ セルオートマトンと統計力学
武末 真二 (京大教養) 9:40 ~ 10:10

Coffee Break (10:20 - 10:40)

- ・ ハミルトン系のカオス
相沢 洋二 (早大理工) 10:40 ~ 11:20
- ・ 量子カオス
足立 聡 (東工大理) 11:30 ~ 12:00